



**期間** 令和6年11月1日(金)～令和6年11月29日(金) [全5回]

**実施場所** 九州国際大学地域連携センター(サテライトキャンパス)  
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3コムシティ2階 (39ページアクセス参照)

**申込・問合せ先** 九州国際大学地域連携センター  
〒806-0021 八幡西区黒崎3-15-3  
TEL:631-2203 FAX:631-2204

**時間** 18:15～20:15

応募締切

10月18日(金)

スマートフォンからも  
お申込みできます▶



**定員** 30名

**受講料** 4,000円

受講生への  
メッセージ

実施機関：九州国際大学地域連携センター

春なのに「夏日」や「真夏日」があたり前に、「四季のある日本」から「夏冬の2シーズンの日本」への扉が大きく開いています。田植えの時期が変わりつつ、一等米の生産量が減りはじめ、秋刀魚がとれなくなったという類のことが日常的に増加しつつあります。このような気候変動から起因する自然災害、食料収穫量減少をはじめ、社会変動・経済産業変動、国際紛争、難民増加、人口減少、自然環境喪失等の影響がじわじわと生活の中に押し寄せつつあります。

分岐点や閾値(バウダグリー)を超えてからでは後戻り出来ません、考えてみませんか。

それを更にアウトカム思考やバックキャスト思考、プランBなどを意識しながら北九州市の未来を考えてみませんか。  
※都合によって順序が入れ替わることがあるかもしれませんが、その場合は事前に連絡があります。

回数	月日	テーマ・内容	担当講師
1	11/1 (金)	<b>人口構造の変動とは</b> 北九州の人口構造はどうなっているのかな 人口オーナス社会って何? アウトカム、バックキャスト、プランBって何? (本講座の全体概略説明)	九州能開大 非常勤講師 <b>岩下 陽市</b> 九州芸工大後期博士課程円満退学。 九州職業能力開発大学校教授を卒業後、同大学校の非常勤講師。JICAプロジェクトで海外の技術教育施設の設計業務の経験で、建築設計から地域デザインへと拡がり、八幡東区のまちづくりや現在門司区のまちづくりで活動しています。 地球規模の多岐にわたる大変動と都市・社会等に関連する領域に興味をもっていますが、アップアップしながら楽しくやっています。
2	11/8 (金)	<b>DXという分岐点で蘇る都市・北九州</b> 過去、幾度も衰退の危機を乗り越えてきた北九州市の歴史を振り返り、DXという分岐点をうまく使えば明るい未来が展望できることを論じる。	北九州市 副市長 <b>片山 憲一</b> 北九州市で企画政策室長、産業経済局長などを歴任。退職後、北九州エアターミナル(株)社長、西日本工業大学学長を経験。 現職
3	11/15 (金)	<b>アーム型ロボットによる新たな建設工法の開発</b> 政令指定都市の中でも、急速に高齢化と労働人口の減少が進む北九州市。特に労働者の恒常的な減少が進む建設業でのロボット導入について解説します。	北九州市立大学 教授 <b>福田 展淳</b> 近年は高強度圧縮木材、不燃木材、ロボットによる木造工法開発に従事。
4	11/22 (金)	<b>北九州市の建築に見る時代の変革</b> 明治期から戦前、戦後の高度経済成長期、その後の北九州の建築から時代の問題点を読み取ることができます。現在の北九州の建築から何を読み取ることができるか?	九州共立大学 名誉教授 <b>尾道 建二</b> 専門は建築史および意匠学 日本建築学会評議員、九州共立大学総合研究所長を歴任
5	11/29 (金)	<b>気候変動と1.5℃ライフスタイル</b> 温室効果ガスの排出を減らしながら、生活の質も高めるライフスタイルとは (本講座のまとめ/岩下)	公益財団法人 地球環境戦略研究機関 北九州アーバンセンター リサーチマネージャー <b>赤木 純子</b> 持続可能な社会を実現するための実践的な研究に取り組んでいます。北九州市環境審議会委員。

スポット受講  
詳細は2ページ

料金

1,000円/回  
2回まで